

トドロロちゃんと山登り

南知多コスモス街道

2023年10月31日 | :



■2023.10.31 トドロロちゃんの送迎に2時間程時間が開く。
その時間を利用して少し足を伸ばしコスモスを見に行く。

朝からの見学者は私のみ。
コスモスの種類はセンセーションミックス、広さは約2ha。





桜も少し咲いている。





鉄塔に人が・・・配線工事？



例年は治部坂へ向かうが今年は近場で。



明日からは鎖骨骨折の折に入れた金属を取る抜釘手術で入院。

しばらくおとなしくしないと。

でも数日ですけど。

□

秋の南木曾岳

2023年10月29日 | :



紅葉目的の登山も標高を徐々に上げ次は1,500m前後の山がターゲット。

選んだのが南木曾岳(1,677m)。

今回で4度目だが秋の時期は初めて。

夫婦で山登りを本格的に初めて最初に登った山でもある。

■2023.10.26 5:05自宅発。

8:15 蘭の登山口着。先行者の車は2台。

準備をし出発。(写真は下山時)



散策路から林道に出て暫くゆくと左側に登山口が現れる。

ジグザグに標高を上げると、高野横の巨木の森。

森を抜けると岩場になるが今回は迂回路に行く。

ここからは眺望ある。



南木曾岳は木の橋・梯子・階段がたくさん出てくる。

さすが南木曾営林署(登山道の整備)



南アルプスが見える。



拡大。



傾斜がなくなるとそろそろ頂上。
その前に肩の高さの笹原が広がる。
露で濡れるがひんやりして気持ちいい。



樹林帯の中の南木曾岳山頂。



山頂付近の展望台へ。
御嶽山に笠雲が掛かっている。



恵那山も見え



赤い屋根の避難小屋が見えると山頂台地の開けた場所に。



南木曾岳の山頂部は山頂と摩利支天を除き笹原に覆われている。
この山の魅力はここからの景色です。



中央アルプスの展望台。



少し雲がある。



山頂部東の展望台はベンチがある。



この岩の上から眺望を楽しむ。



展望標識に書かれている山はほぼ見ることができた。



今日の山食は自分で作ったサンドイッチ、カップ麺、コーヒなど。

中央アルプス北部。



千疊敷から空木への縦走路はお気に入りです。



仙滝嶺、越百山にも久しぶりに縦走したいが措鉢窪避難小屋が使用禁止となっているので...



南部の安平路山・措古木山。この縦走は藪漕ぎが辛そうで行けていない。



北アルプスも見えます。



何と大天井や常念まで見える。



約1時間まったりして下山。
じゃあまたね「中央アルプス」



摩利支天の展望台。
恵那山や富士見台が良く見える。



紅葉の主役はドウダンツツジとマルバノキでカエデの仲間は少ない。
マルバノキ(マンサクの一種)の紅葉が可愛い。



コウヤマキなどの高木の下で色づいています。



下山道の方が紅葉が多い。



ドウダンの色づき。



下山道は激下りで木の階段・梯子の連続、ここでの怪我が多いのがこの山。
慎重に! 慎重に! 自分に言い聞かせる。

ダブルストックでバランスを取りながら木の階段を嫌というほど降りると、分岐が近くなる。
下では朴葉の葉がサラサラ落ちてくる。



登山口近くの堰堤は
表面に木材が貼ってある。
景観対応かな・・・？



13:00 下山

■登山データ
合計時間:4時間43分(含む休憩57分)
距離:5.6km
のぼり/くだり:781/780 m

焼き物は生き続ける。

2023年10月21日 | :



古い焼き物も町並みの一部として生き続けています。



曲がり土管。



子供の頃からの変わらない風景がここにある。



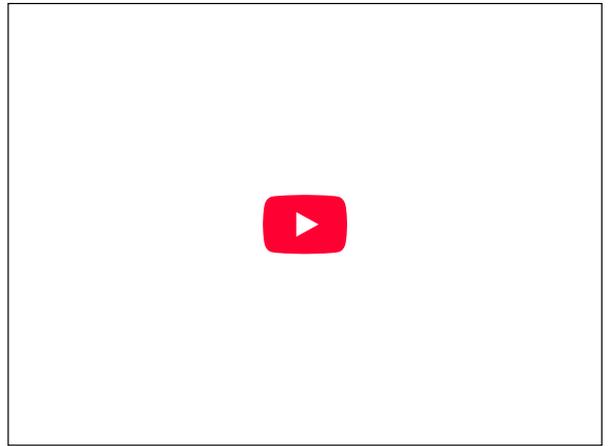
赤茶けた色がわが町の色。



花が焼き物を飾る。



アリスの谷村新司が旅立った。
我が青春を支えた曲が多かった。
ご冥福を祈ります。



財津一郎さんも旅立った。
ご冥福を



コメン

大川入山に羊...

2023年10月14日 | :



■2023.10.13 先日の唐松岳(2,695.9m)、焼岳(2,455m)より標高を500m下げた大川入山(1,908m)が今回の紅葉登山ターゲット。

よく登る山ですがちょっと調べて見ました。

大川入山 (Wikipedia)

中央アルプスの最南端に位置する山。山頂部は矢作川流域で唯一亜高山帯に属している。山頂部の南側、側は原生林が伐採され、その後生育したクマザサに覆われた笹原で、コマツガとトウヒなどが分布する亜高針葉樹林。

このクマザサに覆われた笹原が特徴の山です。



木の根だらけの急登り細い尾根道を一気に400m登るとそこは横岳。
紅葉には少し早い時期に訪れたせいここまでの色づきはない。



ここからはほぼ水平な登山道が2.5km続く。





紅葉が進んでいるのはツツジ系。



高木帯(カラマツなど)は日差しが届かず一部のイロハカエデが色づくのみ。
東側の開けた場所は日当たりがよく色づきが良かった。



ここから300mの急登が始まる。
徐々に笹原が広がりお日様の直撃。
上着を脱ぎ長袖一枚で登る。
南と西の斜面がクマザサに覆われその所々に
赤い羊(ドウダンツツジの赤い紅葉)の群れ。



この羊たち、紅葉で赤くなり、霧氷で白くなる。



11時前に山頂。
この山頂は北の一部が見通せないが見晴らしの良い所です。

今日もおにぎりとかップ麺ですが、サーモスのお湯ではなくバーナーでお湯を沸かします。やっぱりカップ麺がしっかり柔らかく美味しくなります。
飲み物は「うす茶糖」と「つぶらなかとぼす」。



まずは北側の登山道を少し行き恵那山(右上)を見ます。
大川入山の西のクマザサが綺麗です(左上)。
山頂から北東方向にみえる中央アルプスは上部に雲が掛かっています。
見えるのは一番左の麦草岳のみ。



ハヶ岳や南アルプスはバッチリ見えます。
愛知県の北部もよく見えます。茶白山しかわからない。



残念な中央アルプス。



笹原の綺麗なお隣の尾根

中央アルプス
 奥の山 277m
 野の山 295m
 空木山 384m
 南の山 394m



恵那山です。

大川入山は中央アルプス最南部の山なんです。



一時間程まったりした後下山開始。

東斜面のカラマツの紅葉。(7-8割の紅葉)



雲で日差しが遮られた。

こんな山奥まで原生林を伐採したとは。その後にクマザサが茂る。



たまに雲間から光が届く。



山頂の紅葉は今が盛です。



治部坂峠を挟んで反対側は冬にお世話になる治部坂高原スキー場。



笹原の中を進む登山道は良いですね。



左、カラマツの紅葉。右ドウダンツツジの紅葉。



お日様が指すとクマザサは銀色に輝きます。



愛知県北部の山々。ピークがはっきりしない。



樹林帯はまが緑。



尾根道の日当たりが良いところでは色づき初めている。



横岳からは日の当たる葉が一部色づき。

登山口のもみじは赤らんでいる。



帰路は近くの信州平谷温泉「ひまわりの湯」で温泉に入りリフレッシュ。

売店で新蕎麦やお土産を買って帰路につく。

2,000m級の紅葉を何処にするか迷いましたが、無料温泉チケットもあり行きなれたここに決めた。

山頂の紅葉ピークに合わせてので例年より少し早目となりました。

山の紅葉も夕焼けと同じで一期一会ですね。

夕焼け小焼け

2023年10月13日 | :

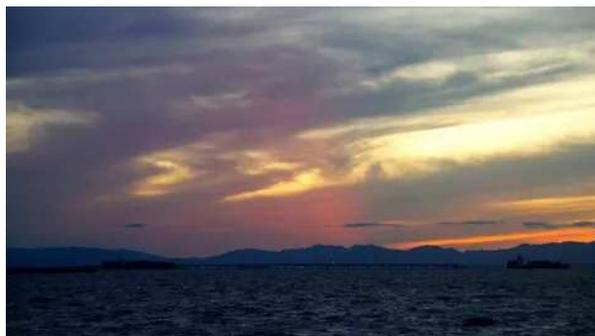


夕方一時間のウォーキング&ロードで撮りためた夕焼け小焼をアップします。

夕焼け小焼け

太陽が沈むときに空が真っ赤に染まる現象が、よく知られる「夕焼け」です。対する「小焼け」は、沈んだ太陽に照らされた空がもう一度赤くなることをいいます。

わが街からは伊勢湾越しの鈴鹿山脈に沈む夕焼けが見れます。
一期一会の夕焼けです。





セントレアへ着陸する飛行機がドンビシャ太陽の影に。
300mm程度の望遠ではこれが限界です。



海苔のそだと漁船。





名古屋港は日本最大の貿易港、大きな船舶が多く行き交います。



ピークは鎌ヶ岳。



小焼け。



山の夕焼けも一期一会でしょうね。

コ

[記事一覧](#) | [画像一覧](#) | [フォロワー一覧](#) | [フォトチャンネル一覧](#)

[« 前ページ](#)

トドロクちゃんと山登り

落ち着く場所。

2023年10月09日 | :



春の新緑や秋の紅葉の時期には必ず訪れる「丈山苑」。

今日はトドロクちゃんのリクエストで訪れる。

腰の調子が悪く、座ると神経が圧迫され痛みがでるのでなかなかドライブに行けない。今日はまだ調子があがりません。

苑内は数名の訪問者がいるだけで静かな佇まい。



カメラのレンズは

椿の実、ホトギス、サルスベリ、ミズヒキ、タチアオイ、ナンテン、白い彼岸花、柿を撮る。



座敷で庭園を見ながらお抹茶をいただく。



静かな時間

そして回遊式庭園へ。

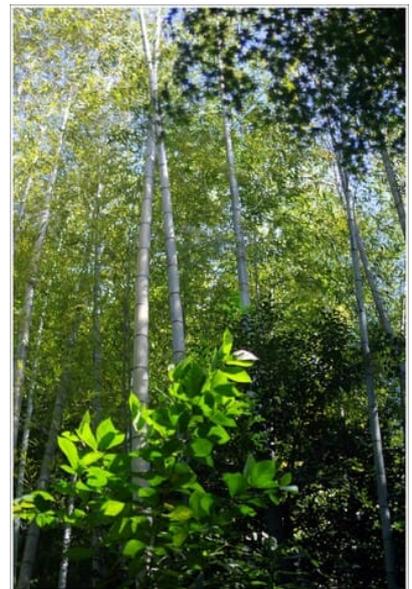


台風の影響で風が強い。

山では遭難が発生している。

この時期、風による低体温症が一番怖い。

竹林が強風になびきザワザワと音を立てる。



久々のドライブ

また遠出ができるようになると……いいな。

私も来月、鎖骨を固定している金属を取る、抜釘手術がある。

紅葉と眺望の焼岳

2023年10月06日 | :



初日の唐松岳の記録はここです。

いきなり焼岳の大画像です↓

2023-10 焼岳

52 new items · Album by Inakun Masakun

■2023.10.03 P泊地の夜は快適でぐっすり眠れた。
出かける前に軽く温かいものを食べ4時頃に登山口へ向かう。
車が多く予定より30分程オーバー。

車は何とか登山口に駐車できた。それにしても車が多い。
多少疲れが残っているので、今日はダブルストックで向かう。

5:38 登山口に入る。



さらに行くと呼称広場と言われる場所に到着。
色づいた木々が目立ち始める。



快晴。
ここからの上りが結構きつい。



北峰と南峰の間の出た。
火山湖の水はこの時期少ない。
常時観測火山に指定されている「活火山」



今日も富士山、南アルプス、中央アルプスが良く見える。



乗鞍や加賀の白山も良く見える。



8:09 山頂。
眺望は・・・
パッチリ見えます。
上高地や涵沢は混んでいるだろうな。



西穂・岳沢小屋も見える。



笠ヶ岳から



双六から



槍穂や霞沢までよく見えます。
この方面で登っていないのは霞沢だけかな。
この景色は夕焼けで見たところですね。



知り合った女性と山話をしながら軽食を食べる。
眺望で見える山がどの山か殆ど判らないようなので一通り説明。
おまけの話が多かったかも知れない。

焼岳の別のピークに火山監視装置が設置されていた。

焼岳が梓川を堰き止めてきた大正池も見えます。
今口ヶ嶺から登山口といえます



何度見ても絶景。



残雪期に来たいですね。



山頂でまったりしたので9:31下山開始。



焼岳の紅葉は良いですね。



今日も登ってくる人が多い。



恐るべし百名山ハンター達。



11時頃下山。

帰りは岐阜周りで帰ります。



久々に安房峠超え。

ひらゆの森で温泉とサウナでリフレッシュ。

そして高山ラーメンを食べにいつものドライブステーション板蔵へ
 ……2021年閉店し別の店に。
 現在は「飛騨高山おみやげ〇〇〇」となっていた。

北アルプス登山後は何回も立ち寄った場所。このラーメンが…
 もう立ち寄りはないと思う。

飛騨清見から高速に乗るが!!
 ここでトラブル発生。
 ICのゲートが開かない。

で

そのまま通過。

ゲートが短いようで車には当たらず、すり抜けた。

原因はETCカードがリジェクト状態だった。
 (車中泊で足が触れたようだ)

途中のSAでこの状況を検索。

出口で申請すればOKとの事でホットひと安心。
 疲れもピークで途中のPAで一時間ほど仮眠をし安全に帰路に。

人は多かったが良い紅葉登山の二日間でした。

唐松岳 八方尾根は広い尾根を登るので常に見晴らしが良い。尾根は池やダケカンバ帯が現れ変化に富める。稜線を超すまでは後立山連峰の山々が背中を押し、稜線を超すと剱立山連峰や北アルプス最深部が目び込む。この時期に三度、厳冬期、縦走でも一度来ているがこれからも何度も来なくなる山です。

焼岳 樹林帯から疎林帯へ、そして岩場の登りと短いながらも変化に富んでいる。ここも山頂に出ると一大マが広がり。唐松岳からは見えなかった北アルプス南部の山々の眺望が素晴らしい。

■登山データ

時間05:25(休憩1:30含む)、距離6.7km累積標高差:843m、カロリー:1331kcal

帰宅後はリンパマッサージ機で重点的に足をマッサージ。



これで明日以降の筋肉痛はなくなる。

恐るべし効果です。

コメン

秋の山登りは「唐松岳」から。

2023年10月05日 | :



翌日の登山、焼岳の記録はここです。

今シーズンの紅葉登山はまず「眺望と池」をテーマとしてP泊で2山を登る。

初日は御来光も見たいので早目に高度を稼げる唐松岳。翌日は軽めの焼岳で火口湖や穂高連峰の眺望を喫する。

この時期の唐松岳は今回で3度目、それだけお気に入りと言うことです。

そしてP泊場所は焼岳登山口まで1時間以内の場所を探し色々な利便性から「道の駅アルプス安曇野ほりの里」とする計画を立てた。

天候等の加減や気分で変更できるよう「遠見尾根」や「乗鞍岳」「濁河からの御嶽山」「木曾駒ヶ岳」のスケジュールも作成し持参。

登山届はコンパスで当日提出予定。

自宅でP泊準備をし必要な持ち物を積み込む。

ヤリスクロスの車中泊 更新 - トドロクちゃんと山登り
 去年車を変え前車と同じ方法で車中泊をしている。↓OGPイメージヤリスクロスで色々

前日0時前に自宅を出発。4時頃白馬に到着、和田野の奥から黒菱林道を上がるが霧で視界は5メートル。何度か通った林道だが道路端を慎重に拾いながら標高をあげる。

■2023.10.02

黒菱Pに到着し適地に駐車。(残り駐車スペースは3-4割だった)

5:02 早々準備をしヘッドライトを灯し歩き出す。

霧が深くルートが分からないが記憶を呼び出し適当に登ると鏡池湿原に出た。

ここは霧が掛かっておらず視界はある。ここからさらにリフト1本分を登り八方池山荘を目指す。

途中で雲間から御来光。

車でくるからこの時間に間に合う。

Morgenロートで山肌が染まる。

ガスが湧き上がり動きのある景色を描く。



05:52 八方池山荘着。ここまでリフト2本分を登る。

白馬三山に絡みつくガス。



湧いたガスや雲の動きが早く同じ絵は現れない。

快晴の天気より今日のような天候が好きです。



八方池。

南側の丘に数名のカメラマンがシャッターチャンスを待っている。



八方尾根の面白いのはこの標高で樹林帯が現れる事だ。

この紅葉がそろそろピーク。



扇雪渓(雪は無い)を抜けると夏は綺麗な花畑だろう場所になる。

チングルマの綿毛が綺麗だ。



08:08 丸山ケレン。



徐々に雲が切れたした。
山頂からの眺望も期待できそう。



隣の五竜遠見尾根は細い尾根なのでガスの中。
八方尾根は広いのでこのような天気ではガスが掛かりにくいのか？



五竜の雲ももう少しで切れそう。



今回は遠見尾根にしなくて正解だった。
稜線に出ると唐松岳がデーン。



冬はここからが爆風で大変です。
この時期は大丈夫。



富山県側は雲海が広がる。



薬師岳から剣岳まで



立山三山一別山一劔岳
薬師岳
鷲羽岳一水晶岳一赤牛岳

持参レンズは2本、標準ズームと望遠ズームを付け替え撮影。



トドクロちゃん🍱を食べながらしばし眺望を楽しむ。
寒いのでビニーやミドラーを着込む。



槍穂も見えます。



山頂で1時間程過ごし下山する。下山はゴンドラ組とのすれ違いが多くなるのが大変。



八方池。
多くの人が……





八方池山荘からも歩いて下山。
ここからはリフト2本分です。

頸城山系も見えます。
そろそろ妙高でも登ろうかな。



P泊場所は道の駅アルプス安曇野ほりがねの里

焼岳登山口にはトイレがないし登山口近くのP泊場所は不便そうなので...

近くのスーパーで食材やお酒を買い足す。

道の駅で適所に車を止め、車の窓にプラグで作った目張り(保温性も重視)をする。

後は撮った写真を見ながら一人宴会🍷。

快適な夜は過ぎて行く。

大きな写真を以下では是非見てください。



2023-10 秋の唐松岳

100 new items · Album by Inakun Masakun

■活動データ。
休憩時間が1時間ちよいあるので約7時間の活動です。消費カロリーは2121kcal。

← 八方山・唐松岳

活動データ

🕒 タイム	📏 距離	📏 のぼり	📏 くだり
07:58	12.9 km	1292 m	1289 m

🔄 平均ペース 📊 やや速い **110 - 130 %**

ちなみに山登りに利用しているのは

- ・YAMAPアプリで活動記録。
 - ・コンパスで登山届と下山届提出。
 - ・計画作成はヤマレコ。
 - ・アプローチなどはgoogleMAP
 - ・登山記録はブログ。
 - ・綺麗な画像はgoogle photo
- とITを最大限利用、便利です。

下山後は大町の薬師の湯でサッパリ。
ここはサウナもありお気に入りです。

[記事一覧](#) | [画像一覧](#) | [フォロー一覧](#) | [フォトチャンネル一覧](#)

[次ページ](#)